



木柄の製品は年間約40万丁が販売され、その売り上げの一部は地球環境基金を通じて環境保全活動に役立てられている。製品には、「環境活動応援商品」の印として、シールが貼られている



日本のもの作り、そして森林を守るために

木柄の製品をこれからも残していきたいという思いがある一方で、環境保全の観点からは様々な問題が存在しています。「海外からの木材の輸入事業に携わることがあるので、森

ル製のほうが優れていますが、シヨベルやスコップは手に持って使う道具です。スチール製にはない、木がもつ温もりを好む人が今でもたくさんいます。そのこだわりには私たちが応えていきたいのです」とその理由を森さんは話します。

また今、浅香工業で作られるシヨベルやスコップは日本唯一の国産です。木柄の部分は、中国やインドネシアで伐採された木材を輸入し、国内の工場加工しています。過去には他社でも国産製品がありました。近年では海外からの輸入製品だけになってしまいました。それでも、浅香工業は国産であることにこだわっています。国産製品は輸入製品に比べ、熱処理部分などの加工処理精度が高く、品質を高水準に統一することができ、供給体制に関しても高い利便性を保つことができるからです。

—— 自然の循環を崩すことなく木のよさを伝えていきたい



浅香工業株式会社

国内で唯一、国産のシヨベルやスコップなどを製造、販売し、業界トップを走る浅香工業株式会社。その中でも、主力商品である木柄のシヨベル、スコップへの思いや、木にまつわる環境保全活動について伺いました。



—— 企業ロゴに込めた「強さと優しさ」

浅香工業株式会社（以下、浅香工業）は、土木作業や農作業、園芸作業などで使われる、シヨベルやスコップなどの道具を中心に製造し、全国で販売しています。工事現場でプロが使用するものや、趣味の園芸用など、用途に合わせて様々な大きさや形状の製品を提供しています。

浅香工業の歴史は約350年前にさかのぼります。江戸時代寛文年間、今の大阪・堺市で打ち刃物問屋として創業。明治時代に入ってから、西洋文化が広まるにつれ、鉄道などの発展に伴いシヨベルやスコップの大きな需要が見込まれると考え、浅香工業が日本で初めて製品化し、量産を開始しました。

企業ロゴや商品のブランド名にもなっている「金象印」に込められた思いを同社商品部企画開発課課長補佐の森雅宏さんは「象は力強く、優しさもあり、さらに意外と足も速いといわれています。弊社の商品を使うことで作業効率がよくなる、楽になるという思いが込められています」と話してくれました。



浅香工業でのシヨベルの生産量は、スチール製が6割、木柄が4割

—— 木の温もりを感じてもらうために

近年、工事現場で硬い地面を掘るときなどに使用されているシヨベルやスコップは、壊れにくいスチール製のものが主流となっています。しかし浅香工業では、現在でも持ち手の部分が堅くて丈夫な樫の木で作られた、木柄のシヨベルやスコップを主力商品として製造しています。重さや価格もスチール製とほとんど同じにも関わらず、木柄のシヨベルやスコップはまだまだたくさんの方から需要があります。「道具の単純な強さだけを求めるのであれば、スチー

もりある手触りを再現できないかと、新しい商品開発にも積極的に取り組んでいます。

自然の循環をこれ以上に崩すことなく、これからは木製製品を作りたいという企業の思いから、木柄のシヨベルやスコップの売り上げの一部を地球環境基金に寄付いただいております。森さんは「地球環境基金に寄付することで、間接的ではありますが、自然に少しでも還元したいと考えています。これからも日本のもの作りを残し、木のよさを伝えていくために、まずは森林を守ることに貢献していきたいです」と話してくれました。

企業情報

浅香工業株式会社



浅香工業株式会社は、「人の生活」をテーマに、350年の伝統に培われたノウハウを生かし多くの生活関連用品を提案、提供しています。

● 本社所在地 大阪府堺市

● URL <http://www.asaka-ind.co.jp/>



お話を伺った商品部企画開発課 課長補佐の森雅宏さん